

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	室蘭港における港湾利用の効率性・安全性の向上												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	室蘭市												
計画の目標	老朽化した施設の機能維持・延命を目的とした改良を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。 港湾施設を適切に維持するため、2施設の維持管理計画を策定する。 船舶の大型化に対応するため、港湾施設の機能を強化し、港湾利用の安全性の向上を図る。 フェリー航路就航に伴う船舶条件に対応するため、施設の改良を行い港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	852	A	850	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.23	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	室蘭港港湾施設の老朽化対策が必要な4施設を平成30年度までに改良を実施し、効率性及び安全性の向上を図る。 改良を実施した港湾施設数を算出する。 (対策済みの施設の割合) = (対策実施済施設数 / 要対策施設数) × 100 (%)	0施設	0施設	5施設
2	港湾施設を適切に維持するため、2施設の維持管理計画を策定する。 適切な維持管理を行うため維持管理計画の策定が必要な港湾施設数。 (長寿命化計画策定率) = (計画策定済施設数 / 計画策定総施設数) × 100 (%)	0施設	2施設	2施設
3	大型化したクルーズ客船の利用のため、係留施設を改良し施設の安全性の向上を図る。 機能向上が必要な施設数を算出する。 (対策済みの施設の割合) = (対策実施済施設数 / 要対策施設数) × 100 (%)	0施設	2施設	2施設
4	埠頭保安設備の老朽化に伴い、施設利用に支障が生じているため、対策が必要8施設の改良を行い施設利用の効率性・安全性の向上を図る。 施設利用に支障が生じ改良が必要な保安設備を有した施設を算出する。 (対策済みの施設の割合) = (対策実施済施設数 / 要対策施設数) × 100 (%)	0施設	8施設	8施設

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	室蘭市	直接	-		拠点	改良	西2号埠頭幹線道路の改良	延長 L = 500m	室蘭港・築地地区						175	-
	A02-002	港湾	北海道	室蘭市	直接	-		拠点	改良	崎守埠頭4,5号岸壁(-12m)防食対策、改良	延長 L = 480m	室蘭港・崎守地区						196	-
	A02-003	港湾	北海道	室蘭市	直接	-		拠点	改良	崎守埠頭7号岸壁(-10m)改良	延長 L = 185m	室蘭港・崎守地区						150	-
	A02-004	港湾	北海道	室蘭市	直接	-		拠点	改良	海岸町物揚場(-2.5m~-3.5m)の改良	延長 L = 405m	室蘭港・入江地区						178	-
	A02-005	港湾	北海道	室蘭市	直接	-		拠点	維持管理	長寿命化計画策定	橋梁2件	室蘭港						2	-
	A02-006	港湾	北海道	室蘭市	直接	-		拠点	改良	崎守埠頭5号、6号岸壁付属物改良	係船柱3基	室蘭港・崎守地区						30	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	拠点	改良	埠頭保安設備の改良	カメラ制御装置、無停電電源装置	室蘭港						59	-	
	A02-008	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	拠点	改良	フェリー埠頭4号岸壁の改良	防衛工改良3基	室蘭港・入江地区						60	-	
											小計						850		
											合計						850		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	北海道	室蘭市	直接	-	-	-	公共埠頭案内看板設置事業	案内看板3基	室蘭港・築地地区						2	-	
		港湾事業（A02-001）と一体的に案内標識を設置し、利用者の利便性の向上を図る。																	
											小計						2		
											合計						2		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 室蘭市港湾部において実施	事後評価の実施時期 令和2年3月
	公表の方法 室蘭市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路改良・防食・岸壁・物揚場の改良により、各施設の利便性・安全性が向上し、延命化が図られた。 施設の延命化へ向けた適正な維持管理計画を策定した。 係船柱の改良により、着船の安全性が向上した。 埠頭保全設備の改良により、施設利用の効率性・安全性の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も老朽化が進む施設の計画的な改良を継続し、利便性・安全性の高い港湾施設の形成に努めていく。 また、計画期間内に完了できなかった施設については、次回の計画期間内に完成させる。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	5施設
	最終実績値	3施設
室蘭港港湾施設の老朽化対策が必要な4施設を平成30年度までに改良を実施し、効率性及び安全性の向上を図る。		
H30d会計検査によりセルアーク部の被覆防食追加の指示を受けたため、計画期間内に完了できず。		
2	最終目標値	2施設
	最終実績値	2施設
港湾施設を適切に維持するため、2施設の維持管理計画を策定する。		
3	最終目標値	2施設
	最終実績値	2施設
大型化したクルーズ客船の利用のため、係留施設を改良し施設の安全性の向上を図る。		
4	最終目標値	8施設
	最終実績値	8施設
埠頭保安設備の老朽化に伴い、施設利用に支障が生じているため、対策が必要 8 施設の改良を行い施設利用の効率性・安全性の向上を図る。		

(参考様式3) 社会資本総合整備計画

計画の名称	1 室蘭港における港湾利用の効率性・安全性の向上	
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象 室蘭市



※ ▲ 長寿命化策定計画策定(1-A1-5)

※ ○ 案内標識設置 効果促進事業(1-C1-1)

※ □ 保安設備の改良(1-A1-7)